

科目名 「 臨床医学概論 」

学年	学期	科目責任者
3	前学期	牧山康秀
科目ナンバリング	B-2-③-I-02	
単位数	1	
学習目標 (GIO)	臨床の場でよく遭遇する症候の基本的知識を学習し、それに関連する主要な疾患を理解する。	
担当教員	★牧山康秀, ★大口純人, ★丹羽秀夫, ★井上文央, ★廣田 均	
教科書	症状の起こるメカニズム：橋本信也著 医学書院	
参考図書		
評価方法 (E/V)	定期試験を行う。100点満点で60点に達しない場合は再試験を行うことがある。成績は試験に加え、出席状況および学修態度を参考とし総合的に評価する。	
学生へのメッセージ オフィスアワー	患者の訴え, すなわち, 症状がどうして起こっているのかを常に考えられるようになること。 質問等は 科目責任者 makiyama.yasuhide@nihon-u.ac.jp まで。	

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/3	ショック	<p>【授業の一般目標】 ショックとは何か, その原因、緊急時の対応を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。1. ショックの定義を説明できる。2. ショックの種類を説明できる。3. 緊急の対応を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 予習時間：教科書を読んでおく。30分。復習時間：30分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	★牧山

<p>第2回 4/10</p>	<p>発熱・倦怠感・肥満・やせ</p>	<p>【授業の一般目標】 体温調節のしくみ・発熱患者を見たときの対処など、また倦怠感・疲労はどのような侵襲が生体に加わっているのかを説明できる。体重の増減のシステムについても説明できる。 【行動目標 (SBOs)】臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 1. 発熱の仕組みと対応について説明できる。2. 倦怠感の仕組みと対応について説明できる。3. 倦怠感の仕組みと対応について説明できる。4. るいそうの仕組みと対応について説明できる。 【準備学習項目】 予習時間：教科書を読んでおく。30分。復習時間：30分。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★大口 ★井上</p>
<p>第3回 4/17</p>	<p>頭痛・めまい・難聴・しびれ・視力障害 (1)</p>	<p>【授業の一般目標】 頭痛・めまいなどの脳疾患および耳鼻科領域疾患を説明できる、生命に危険を及ぼす頭痛、めまいを説明できる。 【行動目標 (SBOs)】臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 頭痛、めまい、難聴、しびれ、視力障害の仕組みとその対応について説明できる。 【準備学習項目】 予習時間：教科書を読んでおく。30分。復習時間：30分。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>廣田</p>
<p>第4回 4/24</p>	<p>意識障害・運動麻痺・けいれん</p>	<p>【授業の一般目標】 意識障害・運動麻痺・けいれんなどの脳神経疾患の主要症候を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 意識障害、運動麻痺、けいれんの仕組みを説明できる。その緊急の対処法を説明できる。 【準備学習項目】 予習時間：教科書を読んでおく。30分。復習時間：30分。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>廣田</p>
<p>第5回 5/8</p>	<p>咳・痰・呼吸困難</p>	<p>【授業の一般目標】 咳・痰・呼吸困難を説明できる。呼吸器疾患を中心に対処法も説明できる。 【行動目標 (SBOs)】臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 咳、痰、呼吸困難の仕組みが説明できる。その緊急の対処法を説明できる。 【準備学習項目】 予習時間：教科書を読んでおく。30分。復習時間：30分。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★丹羽</p>

<p>第6回 5/15</p>	<p>胸痛・不整脈</p>	<p>【授業の一般目標】 胸痛や不整脈を説明できる。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 胸痛、不整脈の仕組みが説明できる。その緊急の対処法を説明できる。 【準備学習項目】 予習時間：教科書を読んでおく。30分。復習時間：30分。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★大口 ★井上</p>
<p>第7回 5/22</p>	<p>黄疸・腹水</p>	<p>【授業の一般目標】 黄疸・腹水を説明できる。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 黄疸、腹水をきたす肝臓疾患を説明できる。その対処法を説明できる。 【準備学習項目】 予習時間：教科書を読んでおく。30分。復習時間：30分。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★大口 ★井上</p>
<p>第8回 5/29</p>	<p>頭痛・めまい・難聴・しびれ・視力障害 (2)</p>	<p>【授業の一般目標】 聴覚器について構造と機能、また難聴の定義、対処法について学習する。しびれについても病態生理を学習し、対処法について理解する。眼科疾患である視力障害について学習し、理解する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 頭痛、めまい、難聴、しびれ、視力障害の仕組みとその対応について説明できる。 【準備学習項目】 予習時間：教科書を読んでおく。30分。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★丹羽</p>
<p>第9回 6/5</p>	<p>悪心・嘔吐・吐血・下血 下痢・腹痛・腹部腫瘍</p>	<p>【授業の一般目標】 悪心・嘔吐の上部消化器症状を説明できる。吐下血について病態生理を説明できる。 腹痛のしくみを説明できる。下痢、腹部腫瘍などをきたす腹部疾患を説明できる。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 悪心、嘔吐、吐血、下血、下痢、腹痛、腹部腫瘍を説明し、その対処法を説明できる。 【準備学習項目】 予習時間：教科書を読んでおく。30分。 復習時間：30分。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★大口 ★井上</p>

<p>第10回 6/12</p>	<p>甲状腺腫・関節症状</p>	<p>【授業の一般目標】 甲状腺腫を説明できる。 関節痛が起こるしくみを説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 甲状腺腫、関節症状の起こる仕組みを説明できる。その対処法を説明できる。 【準備学習項目】 予習時間：教科書を読んでおく。30分。 復習時間：30分 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★丹羽</p>
<p>第11回 6/19</p>	<p>食欲不振・浮腫・リンパ節腫脹</p>	<p>【授業の一般目標】 食欲のメカニズムを説明できる。浮腫・リンパ節腫脹を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 食欲不振、浮腫、リンパ節腫脹の仕組みとその対処法を説明できる。 【準備学習項目】 教科書を読んでおく。30分。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★大口 ★井上</p>
<p>第12回 6/26</p>	<p>高血糖・貧血・出血傾向</p>	<p>【授業の一般目標】 血糖の調節、貧血を説明できる。止血を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 血糖値の異常を説明できる。その対処法を説明できる。貧血を説明できる。その対処法を説明できる。止血の異常を説明できる。その対処法を説明できる。 【準備学習項目】 予習時間：教科書を読んでおく。30分。復習時間：30分。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★大口 ★井上</p>
<p>第13回 7/3</p>	<p>痛みとはなにか</p>	<p>【授業の一般目標】 痛みとは何か、その対処法について説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 痛みの定義、種類を説明できる。 【準備学習項目】 予習時間：教科書を読んでおく。30分。復習時間：30分。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★牧山</p>

<p>第14回 7/10</p>	<p>排尿異常・尿所見異常・尿量異常・性行為感染症</p>	<p>【授業の一般目標】 尿の性状・排尿を説明できる。関連のある泌尿器科疾患を説明できる。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 排尿異常、尿所見異常、尿量異常、性行為感染症について説明できる。その対処法について説明できる。 【準備学習項目】 予習時間：教科書を読んでおく。30分。復習時間：30分。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★廣田</p>
<p>第15回 7/17</p>	<p>痛みの治療</p>	<p>【授業の一般目標】 痛みの治療の考え方、実際に説明できる 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 痛みの種類、対処法を説明できる 【準備学習項目】 予習時間：教科書を読んでおく。30分。復習時間：30分。第13回講義を復習。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★牧山</p>

科目名 「 歯科衛生統計 」

学年	学期	科目責任者
3	前学期	有川量崇
科目ナンバリング	B-5-③-I-16	
単位数	2	
学習目標 (G I O)	歯科保健を進めていくうえで、実態を調べて記録しそれを分析することは大切なことである。しかも、この過程において可能な限り定量的に取り扱うことが要求されることが多い。衛生統計では、歯科保健に必要な統計の基礎理論と、歯科保健に関わる調査で用いられることの多い各種指数の取り扱い方法やまとめ方について学ぶ。	
担当教員	有川量崇 後藤田宏也 田口千恵子	
教科書	最新歯科衛生士教本 保健情報統計学(医歯薬出版) 一年の時に使用した「口腔衛生」の教科書 配布プリント	
参考図書		
評価方法 (E V)	定期試験 (100点満点) を重視するが、授業で課された提出物も評価の対象にする。	
学生へのメッセージ オフィスアワー	理論も大切、実務も大切。数字の取り扱いになれてしまおう。	

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/3	保健情報統計概論	【授業の一般目標】 保健情報と保健統計について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 保健情報を説明できる。 保健統計を説明できる。 保健情報の種類を説明できる。 【準備学習項目】 予習時間：30分、保健情報と保健統計について調べる。 復 習時間：30分、配布資料の確認 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義	有川
第2回 4/10	国家保健統計と人口保健統計	【授業の一般目標】 国家保健統計について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 統計法について説明できる。 口腔保健に関係する主な国家統計について説明できる。 人口静態統計および人口動態統計について説明できる。 【準備学習項目】 (30分) 予習時間：30分、国家保健統計について調べる。復習時間： 30分、配布資料の確認 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義	後藤田

<p>第3回 4/17</p>	<p>疫学Ⅰ</p>	<p>【授業の一般目標】 保健情報と疫学について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 疫学分析について説明できる。健康障害の発生要因について説明できる。 【準備学習項目】 予習時間：30分、保健情報と疫学について調べる。復習時間：30分、配布資料の確認 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>後藤田</p>
<p>第4回 5/8</p>	<p>疫学Ⅱ</p>	<p>【授業の一般目標】 疫学の方法について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 ・疫学の方法について説明できる。 ・疫学の定期および概要について説明できる。 ・疫学の方法について説明できる。スクリーニングについて説明できる。 【準備学習項目】 予習時間：30分、疫学の方法について調べる。復習時間：30分、配布資料の確認 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>後藤田</p>
<p>第5回 5/15</p>	<p>歯科保健統計に 用いられる指数</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科保健統計で用いられる主な指数について学び、指標の意義を理解できる。 【行動目標 (SB0s)】 数量化と指数について説明できる。 【準備学習項目】 (30分) 予習時間：30分、指標の意義について概説できる。復習時間：30分、配布資料の確認 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>後藤田</p>
<p>第6回 5/22</p>	<p>歯科疾患の指標 (齲蝕)</p>	<p>【授業の一般目標】 齲蝕の指数について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 齲蝕の診断基準について説明できる。齲蝕を表現する指数について説明できる。 【準備学習項目】 (30分) 予習時間：30分、齲蝕の指数について調べる。復習時間：30分、配布資料の確認 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>有川</p>
<p>第7回 5/29</p>	<p>歯科疾患の指標 (歯周疾患)</p>	<p>【授業の一般目標】 歯周疾患の指数について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 歯周疾患の評価の条件を説明できる。歯周疾患に応用される指数について説明できる。 【準備学習項目】 (30分) 予習時間：30分、歯周疾患の指数について調べる。復習時間：30分、配布資料の確認 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>有川</p>

第8回 6/5	歯科疾患の指標 (口腔清掃)	<p>【授業の一般目標】 口腔清掃の指数について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 口腔清掃状態を評価する指数について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 (30分) 予習時間：30分、口腔清掃の指数について調べる。復習時間：30分、配布資料の確認</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	有川
第9回 6/12	歯科疾患の指標 (歯のフッ素症と不正咬合の指標)	<p>【授業の一般目標】 歯のフッ素症、不正咬合およびその他の歯科保健の指標について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 歯のフッ素症の指標について説明できる。不正咬合の指標について説明できる。その他の歯科保健指標の指標について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 (30分) 予習時間：30分、歯のフッ素症、不正咬合およびその他の歯科保健の指標について概説できる。復習時間：30分、配布資料の確認</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	有川
第10回 6/19	歯科疾患の疫学的特性	<p>【授業の一般目標】 歯科疾患の疫学的特性について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 齶蝕の疫学的特性について説明できる。歯周疾患の疫学的特性について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 (30分) 予習時間：30分、歯科疾患の疫学的特性について概説できる。復習時間：30分、配布資料の確認</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	有川
第11回 6/26	保健統計の方法	<p>【授業の一般目標】 保健統計の方法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 データの特徴について説明できる。代表値、散布度および相関について説明できる。検定について説明できる。その他の保健統計の方法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 (30分) 予習時間：30分、保健統計の方法について調べる。復習時間：30分、配布資料の確認</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	後藤田
第12回 7/3	保健情報の分析手順	<p>【授業の一般目標】 保健情報の分析手順について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 保健情報の収集について説明できる。調査について説明できる。母集団と標本抽出について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 予習時間：30分、保健情報の分析手順について調べる。復習時間：30分、配布資料の確認</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	後藤田

<p>第13回 7/10</p>	<p>歯科疾患実態調査</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科疾患実態調査について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 歯科疾患実態調査の調査内容について説明できる。歯科疾患実態調査の調査結果について説明できる。 【準備学習項目】 予習時間：30分，歯科疾患実態調査について調べる。復習時間：30分，配布資料の確認 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>田口</p>
<p>第14回 7/17</p>	<p>問題演習</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科衛生統計学の問題解決法について習得する。 【行動目標 (SB0s)】 歯科衛生統計学の問題解決法について具体的に説明できる。 【準備学習項目】 (60分) 予習時間：30分，歯科衛生統計学の問題解決法について調べる。復習時間：30分，配布資料の確認 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>有川</p>
<p>第15回 7/24</p>	<p>まとめ</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科衛生統計学の重要性について習得する。 【行動目標 (SB0s)】 歯科衛生統計学の重要性について具体的に説明できる。 【準備学習項目】 (60分) 予習時間：30分，歯科衛生統計学の重要性について調べる。復習時間：30分，配布資料の確認 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>有川</p>

科目名 「 衛生行政・社会福祉 」

学年	学期	科目責任者
3	前学期	有川量崇
科目ナンバリング	B-5-③-I-17	
単位数	2	
学習目標 (GIO)	歯科衛生士として必要な法・制度を学び、医療人として社会における役割と責任について理解し、修得することを目的とする。	
担当教員	有川 量崇, 後藤田 宏也, 田口 千恵子	
教科書	「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み2 歯科衛生士と法律」全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式会社	
参考図書		
評価方法 (EV)	定期試験(100点満点)を重視するが、授業で課された提出物も評価の対象にする。	
学生への メッセージ オフィスアワー	各関係法規に基づいた歯科衛生士業務として、地域保健活動、産業保健などの保健活動、介護保険、さらに行政の保健事業の立案・実施に関する事項を学び、歯科衛生士業務が、単に医療機関における診療補助・保健指導だけでなく、幅広い社会活動が可能であることを理解するとともに、卒業後の進路における歯科衛生士の具体的な活動分野を知ってほしい。	

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/9	衛生行政・社会福祉概論	<p>【授業の一般目標】 法治国家における法・制度の成り立ちと重要性に触れ、衛生行政の目的を理解し、その組織と所掌内容を把握する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 衛生行政の目的を説明することができる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 予習時間:30分、新聞や雑誌などに記載されている社会保障関連事象に目をふれておく。 復習時間:30分、配布資料の確認</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p>	有川 量崇
第2回 4/16	歯科関連法規 歯科衛生士法	<p>【授業の一般目標】 歯科衛生士法の経緯・概要について理解する。身分法としての、免許取得より実務に至るまでを、細則を含め理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 歯科衛生士法を説明できる。 2. 歯科衛生士の業務を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 予習時間:30分、歯科衛生士の業務を把握できるよう院内などで調べておくこと。 復習時間:30分、配布資料の確認</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p>	有川 量崇

<p>第3回 4/23</p>	<p>歯科関連法規 歯科医師法, 歯科 技工士法</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科医師法, 歯科技工士法の詳細について修得し, 歯科衛生士法との関係を明確に理解する。 【行動目標 (SB0s)】 1. 歯科医師法について説明できる。 2. 歯科技工士法について説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間: 30分, 歯科医師, 歯科技工士の業務を把握できるよう院内などで調べておくこと。 復習時間: 30分, 配布資料の確認 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>有川 量崇</p>
<p>第4回 5/7</p>	<p>保健師助産師看護師法および関連医療従事者身分法</p>	<p>【授業の一般目標】 保健師助産師看護師法および他の関連医療従事者身分法について学習し, 歯科衛生士との業務連携について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 1. 医療職について説明できる。 2. 介護福祉職について説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間: 30分, 様々な医療・介護福祉職の業務を把握するため教科書を予習しておくこと。 復習時間: 30分, 配布資料の確認 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>有川 量崇</p>
<p>第5回 5/14</p>	<p>医療法</p>	<p>【授業の一般目標】 医療の理念とともに医療施設を規定した医療法について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 1. 医療法について説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間: 30分, 病院や診療所など様々な医療施設について調べておくこと。 復習時間: 30分, 配布資料の確認 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>有川 量崇</p>
<p>第6回 5/21</p>	<p>地域保健法および健康増進法</p>	<p>【授業の一般目標】 地域歯科保健活動に最も重要となる地域保健法を詳細に把握し, 各市町村での保健活動がどのように変わってきたか, その状況を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 1. 地域保健法について説明できる。 2. 健康増進法について説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間: 30分, 公衆衛生学で修得した地域保健活動について復習しておくこと。 復習時間: 30分, 配布資料の確認 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>有川 量崇</p>
<p>第7回 5/28</p>	<p>高齢者の医療の確保に関する法律</p>	<p>【授業の一般目標】 高齢者の医療の確保に関する法律の概要と, 特定健康診査, 特定保健指導について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 1. 高齢者の医療の確保に関する法律について説明できる。 2. 特定健康診査・特定保健指導について説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間: 30分, 高齢社会における医療費などの問題を考えること。 復習時間: 30分, 配布資料の確認 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>有川 量崇</p>

<p>第8回 6/4</p>	<p>障害者総合支援法</p>	<p>【授業の一般目標】 ノーマライゼーションの理念とともに障害者施策。自立支援医療を規定した障害者総合支援法について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 1. 障害者総合支援法について説明できる。 2. 自立支援医療について説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：30分、障害者に対する施策とは何か、ノーマライゼーションとは何かを考えておくこと。 復習時間：30分、配布資料の確認 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>有川 量崇 (田口 千恵子)</p>
<p>第9回 6/11</p>	<p>母子保健法および 母子保健の行政組織</p>	<p>【授業の一般目標】 母子保健活動に最も重要となる母子保健法を詳細に把握し、行政での保健活動がどのように変わってきたか、その状況を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 1. 母子保健法について説明できる。 2. 母子保健事業と行政組織について説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：30分、少子化対策など母子保健事業を調べておくこと。 復習時間：30分、配布資料の確認 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>有川 量崇</p>
<p>第10回 6/18</p>	<p>歯科口腔保健の推進に関する法律および8020運動</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科口腔保健の推進に関する法律の概要、また、8020運動との関わりを含め歯科衛生士の地域歯科保健活動について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 1. 歯科口腔保健の推進に関する法律について説明できる。 2. 8020運動について説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：30分、社会における歯科医療の役割について調べておくこと。 復習時間：30分、配布資料の確認 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>有川 量崇</p>
<p>第11回 6/25</p>	<p>食育基本法</p>	<p>【授業の一般目標】 食育基本法の概要と歯科衛生士の栄養指導にどのように関わっていくのか理解する。 【行動目標 (SB0s)】 1. 食育基本法について説明できる。 2. 栄養指導と歯科衛生士の業務について説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：30分、食育について調べておくこと。 復習時間：30分、配布資料の確認 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>有川 量崇</p>
<p>第12回 7/2</p>	<p>医療保険制度</p>	<p>【授業の一般目標】 国民皆保険であるわが国の社会保険制度の概要と仕組みを理解する。 【行動目標 (SB0s)】 1. 医療保険制度について説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：30分、我が国の医療保険制度について調べておくこと。 復習時間：30分、配布資料の確認 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>有川 量崇</p>

<p>第13回 7/9</p>	<p>医療経済</p>	<p>【授業の一般目標】 わが国の国民医療費と医療経済を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 1. 国民医療費や医療経済について説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：30分，我が国の国民医療費について調べておくこと。復習時間：30分，配布資料の確認 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>有川 量崇</p>
<p>第14回 7/16</p>	<p>社会福祉① 介護保険</p>	<p>【授業の一般目標】 社会福祉制度の概要と介護保険制度について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 1. 介護保険制度について説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：30分，我が国の介護保険制度について調べておくこと。復習時間：30分，配布資料の確認 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>後藤田 宏也</p>
<p>第15回 7/28</p>	<p>社会福祉② 児童福祉，障害者福祉等</p>	<p>【授業の一般目標】 児童福祉や障害者福祉等の社会福祉制度について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 1. 児童福祉を中心とした社会福祉について説明できる。 2. 児童虐待について説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：30分，児童虐待について調べておくこと。復習時間：30分，配布資料の確認 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>後藤田 宏也</p>

口腔機能発達学

学年	学期	科目責任者
3	前学期	野本たかと
科目ナンバリング	C-7-④-I-14	
単位数	2	
学習目標 (GIO)	口腔には咀嚼, 摂食嚥下, 呼吸, 言語, 顔貌形成, 感情表現から消化, 免疫応答への関与に至るまで多くの役割が存在しており, 全身の健康状態と密接な関係がある。口腔機能は, 胎生期を経て出生してから乳児期, 幼児期, 成人期に至るまで, 学習によって発達・変化し, 獲得され, そして, 老年期には減退していく。この過程は, 全身状態や環境などの様々な因子により, その様相は異なる。そして, これらの過程において何らかの問題が生じた場合には, 包括的な支援を行うことが必要となる。したがって, ウェルビーイングを担う医療人である歯科衛生士の社会的役割として, ライフサイクルを通しての口腔機能の維持管理があることを十分に認識し, 遂行に必要な知識および技術, 態度を修得する。	
担当教員	野本たかと, 三田村佐智代, 遠藤眞美, 江口采花	
教科書	必要に応じて資料を配布する。	
参考図書	授業時に参考図書を示す。	
評価方法 (EV)	平常試験と定期試験を最終評価とする。平常試験, 定期試験ともに各講義担当教員が出題し, 配点の比重は各講義担当の講義回数に比例する。最終評価が60点に達しない場合には, 全範囲における再試験を行う。	
学生への メッセージ オフィスアワー	口腔の健康はウェルビーイングに関連しており, 歯科衛生士の担うべき事は多い。口腔機能は人のライフサイクルを通して生命の維持から生活の質にいたるまでの幅広い範囲に影響を及ぼしていることを理解し, 歯科衛生士として将来, 口腔機能の適切な管理を通して健康の維持・増進に寄与できるような人材となれるように受講してください。 オフィスアワー: 月曜日～金曜日 9:00～17:00	

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/3	口腔機能発達概論	臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 人間発達と口腔機能発達の概念について知識を修得する 【行動目標 (SBOs)】 1. 発達の概念および理論について理解する 2. ライフサイクルから見た口腔の機能についてその発達と変化について説明できる 3. 口腔機能の全身への関与について説明できる 4. 脳神経の発達と口腔機能との関連性を説明できる 5. ライフサイクルから見た口腔感覚の発達と変化について説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間: 60分, 予習内容: 発達の概念について 復習時間: 60分, 復習内容: 口腔機能の発達と変化について 【アクティブラーニングの有無】 なし 【学習方略 (LS)】 講義	★野本

<p>第2回 4/10</p>	<p>口腔機能に関わる解剖と生理学</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 口腔機能発達に関連する解剖および生理学的特徴について理解する 【行動目標 (SB0s)】 1. 口腔, 鼻腔, 咽頭, 喉頭, 食道の構造について説明できる 2. 口腔機能に関わる筋肉群の構造および機能について説明できる 3. 摂食嚥下のメカニズムについて説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間: 60分, 予習内容: 頭頸部の解剖について 復習時間: 30分, 復習内容: 摂食嚥下に関わる解剖およびメカニズム 【アクティブラーニングの有無】 なし 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★三田村</p>
<p>第3回 4/17</p>	<p>口腔機能発達とその障害①～胎生期から乳児期(前期)～</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 胎生期から乳児期までの口腔機能の発達および障害について理解する 【行動目標 (SB0s)】 1. 胎生期における口腔機能の発達および器官形態について説明できる 2. 乳児期の原始反射について説明できる 3. 哺乳に必要な口腔領域の原始反射について説明できる 4. 哺乳に必要な口腔領域の器官の特徴について説明できる 5. 胎生期から乳児期までの全身と口腔機能の発達の関連について説明できる 6. 胎生期から乳児期までの障害について説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間: 60分, 予習内容: 哺乳について調べる 復習時間: 60分, 復習内容: 胎生期から乳児期までの口腔機能について 【アクティブラーニングの有無】 あり 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★遠藤</p>
<p>第4回 4/24</p>	<p>口腔機能発達とその障害②～乳児期(後期)の正常発達～</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 乳児期(後期)の口腔機能の発達について理解する 【行動目標 (SB0s)】 1. 乳児期(後期)における離乳の開始時期について説明できる 2. 離乳開始時期から離乳完了期までの口腔機能の発達について説明できる 3. 離乳開始時期から離乳完了期までの口腔の器官形態の変化について説明できる 4. 離乳開始時期から離乳完了期までの全身と口腔機能の発達の関連について説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間: 60分, 予習内容: 離乳について調べる 復習時間: 60分, 復習内容: 離乳開始期から離乳完了期までの発達について 【アクティブラーニングの有無】 なし 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★江口(野本)</p>

<p>第5回 5/8</p>	<p>口腔機能とその障害③～幼児期から学童期の正常発達～</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 幼児期から学童期の口腔機能の正常発達と障害について理解する 【行動目標 (SBOs)】 1. 幼児期から学童期における食事の自立について説明できる 2. 食事の自立における眼と手と口の協調について説明できる 3. 食事の自立における全身と口腔機能の発達の関連について説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：食事の自立について調べる 復習時間：60分，復習内容：食事の自立の発達について 【アクティブラーニングの有無】 なし 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★三田村</p>
<p>第6回 5/15</p>	<p>口腔機能発達とその障害④～乳児期(後期)から幼児期の障害～</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 乳児期(後期)から幼児期の口腔機能の障害について理解する 【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔機能の障害の原因疾患について説明できる 2. 離乳における摂食嚥下機能障害について説明できる 3. 離乳における摂食嚥下機能障害と食環境との関連について説明できる 4. 離乳における摂食嚥下機能障害と食内容との関連について説明できる 5. 食事の自立における摂食嚥下障害について説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：離乳期における摂食嚥下障害について調べる 復習時間：60分，復習内容：離乳期および食事の自立における摂食嚥下障害について 【アクティブラーニングの有無】 なし 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★野本</p>
<p>第7回 5/22</p>	<p>中間試験 解説講義</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 第1回から第6回までの講義内容についての知識を総復習し，修得の有無を確認する 【行動目標 (SBOs)】 第1回から第6回までの講義内容についての知識を総復習する 【準備学習項目・時間】 予習時間：180分，予習内容：第1回から第6回までの講義内容 復習時間：60分，復習内容：平常試験にて理解ができていなかった項目について 【アクティブラーニングの有無】 なし 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★野本 ★三田村 ★遠藤 ★江口</p>

<p>第8回 5/29</p>	<p>口腔機能とその障害⑤～成人期から老年期における正常機能と障害～</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 成人期から老年期の口腔機能の特徴と障害について理解する 【行動目標 (SB0s)】 1. 成人期から老年期における身体, 運動機能, 認知機能, 社会性の変化について説明できる 2. 成人期から老年期における口腔機能の変化について説明できる 3. 成人期から老年期における栄養障害について説明できる 4. 成人期から老年期における食の問題について説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間: 60分, 予習内容: 成人期から老年期における口腔機能の変化について調べる 復習時間: 60分, 復習内容: 成人期から老年期における口腔機能の特徴について 【アクティブラーニングの有無】 あり 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★遠藤</p>
<p>第9回 6/5</p>	<p>口腔機能とその障害⑥～言語発達とその障害</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 口腔機能の1つである言語の正常発達と障害について理解する 【行動目標 (SB0s)】 1. 音声言語コミュニケーションのメカニズムについて説明できる 2. 音声言語の正常発達について説明できる 3. 音声言語の障害について説明できる 4. 音声言語のトレーニングについて説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間: 60分, 予習内容: 音声言語のメカニズムについて調べる 復習時間: 60分, 復習内容: 音声言語の発達について 【アクティブラーニングの有無】 なし 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★三田村</p>
<p>第10回 6/12</p>	<p>口腔機能の維持・管理①口腔ケア概論</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 口腔機能の維持・管理の重要性および概念を理解する 【行動目標 (SB0s)】 1. 口腔ケアの定義および意義について説明できる 2. 口腔ケアの効果について説明できる 3. 口腔に影響を与える薬剤について説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間: 60分, 予習内容: 口腔ケアの意義について調べる 復習時間: 60分, 復習内容: 口腔機能の維持・管理について 【アクティブラーニングの有無】 あり 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★三田村</p>

<p>第11回 6/19</p>	<p>口腔機能の維持・管理②適切な食事介助</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 口腔機能の維持・管理に必要な食事場面での適切な介助の方法について理解する 【行動目標 (SBOs)】 1. 食事介助における姿勢の調整について説明できる 2. 食事介助における食具の選択について説明できる 3. 食事介助方法について説明できる 4. 食事介助が実施できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：食事介助の注意点について調べる 復習時間：60分，復習内容：食事介助方法について 【アクティブラーニングの有無】 あり 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★野本</p>
<p>第12回 6/26</p>	<p>口腔機能の維持・管理③機能的な口腔ケア</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 口腔機能の維持・管理に必要な機能的な口腔ケアについて理解する 【行動目標 (SBOs)】 1. 機能的口腔ケアの意義について説明できる 2. 機能的口腔ケアに必要なアセスメントができる 3. 機能的口腔ケアの方法について説明できる 4. 機能的口腔ケアが実施できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：機能的口腔ケアについて調べる 復習時間：60分，復習内容：機能的口腔ケアについて 【アクティブラーニングの有無】 あり 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★遠藤</p>
<p>第13回 7/3</p>	<p>口腔機能の維持・管理④器質的な口腔ケア</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 口腔機能の維持管理に必要な器質的な口腔ケアについて理解する 【行動目標 (SBOs)】 1. 器質的口腔ケアの意義について説明できる 2. 器質的口腔ケアに必要なアセスメントができる 3. 器質的口腔ケアに必要な道具について説明できる 4. 器質的口腔ケアの方法について説明できる 5. 器質的口腔ケアが実施できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：器質的口腔ケアの方法についてしらべる 復習時間：60分，復習内容：器質的口腔ケアの方法について 【アクティブラーニングの有無】 あり 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★遠藤</p>

<p>第14回 7/10</p>	<p>口腔機能の維持・管理⑤集団における口腔ケア</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 集団における口腔ケアについて理解する 【行動目標 (SBOs)】 1. 集団における口腔ケアの意義について説明できる 2. 集団における口腔ケアにおけるアセスメントについて説明できる 3. 集団における口腔ケアの方法について説明できる 4. 集団における口腔ケアが実施できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：集団における口腔ケアの方法について調べる 復習時間：60分，復習内容：集団における口腔ケアについて 【アクティブラーニングの有無】 あり 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★遠藤</p>
<p>第15回 7/17</p>	<p>口腔機能の維持・管理における歯科衛生士の役割</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 地域における歯科衛生士による口腔機能の維持・管理について理解し，支援方法を理解する 【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔機能の維持・管理におけるリスクについて説明できる 2. ライフサイクルを通じた生活環境および社会環境について説明できる 3. 口腔機能の維持・管理に携わる業種について説明できる 4. 口腔機能の維持・管理における医療連携の重要性について説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：口腔機能の維持・管理における歯科衛生士の役割について調べる 復習時間：60分，復習内容：口腔機能の維持・管理における歯科衛生士の役割について 【アクティブラーニングの有無】 なし 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★野本</p>

科目名 「 歯科保健指導論 V 」

学年	学期	科目責任者
3学年	前学期	岡元 明菜
科目ナンバリング	C-9-⑦-I-23	
単位数	2	
学習目標 (GIO)	集団に対する指導方法を身に付け、健康教育についての知識・技能・態度を修得する。	
担当教員	岡元	
教科書	最新歯科衛生士教本 『歯科予防処置論・歯科保健指導論』 医歯薬出版 (株) 歯科衛生士教本 『歯科保健指導総論』 医歯薬出版 (株) 『改訂歯ブラシ辞典』 学健書院 『歯肉を読む』 クインテッセンス (株)	
参考図書	最新歯科衛生士教本 『小児歯科学』 医歯薬出版 (株) *各グループごとにライフステージに応じた参考図書を探す。	
評価方法 (EV)	態度 (積極性) 10%、提出物 (第11回～第15回振り返りシート、第15回感想・考察レポート) 20%、定期試験70%を評価する。 *指導媒体作成や刷掃指導への取り組み、提出物も評価します。	
学生へのメッセージ オフィスアワー	小集団指導に向けて、指導案・媒体を作成してください。PDCAサイクルを活用し、評価・改善を行いましょう。 不明な点は担当教員へ相談してください。	

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/9	学校歯科保健 (計画・実施)	臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 小集団指導のための指導媒体を作成し指導方法を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 リハーサルを想定した最終チェックを行う。 媒体を1つ完成させる。 【準備学習項目・時間】 予習:メンバー全員が指導内容を把握していること。(20分) 復習:円滑にリハーサルが実施できるよう発表準備を進める。(20分) 【アクティブラーニングの有無】 有 【学習方略 (LS)】 実習	★岡元
第2回 4/16	学校歯科保健 リハーサル① (実施・評価)	臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 リハーサルを行い、全体の流れを確認し不備がないようにする。 【行動目標 (SB0s)】 リハーサルを実施できる。 より良い指導方法を討議する。 媒体の複製を行う。 【準備学習項目・時間】 予習:指導媒体を1つ完成させておくこと。(30分) 復習:リハーサルを基に指導案・媒体の修正を行う。(30分) 【アクティブラーニングの有無】 有 【学習方略 (LS)】 実習	★岡元

<p>第3回 4/23</p>	<p>学校歯科保健 (評価・改善)</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 前回のリハーサルをもとに、指導媒体および指導方法を修正する。 【行動目標 (SB0s)】 指導媒体の作成と指導方法を再考する。 媒体の複製を行う。 【準備学習項目・時間】 (60分) 予習：媒体を使用した指導方法を全員が把握しておくこと。(20分) 復習：対象者が理解しやすいような工夫をする。(20分) 【アクティブラーニングの有無】 有 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>★岡元</p>
<p>第4回 5/7</p>	<p>学校歯科保健 リハーサル② (実施・評価)</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 前回までの反省点を踏まえたリハーサルを実施する。 【行動目標 (SB0s)】 全員が指導内容を把握している。 リハーサルを実施できる。 より良い指導方法を討議できる。 媒体の複製を行う。 【準備学習項目・時間】 予習：対象者を想定した指導を考察する。(20分) 復習：ペアでの練習を行う。(30分) 【アクティブラーニングの有無】 有 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>★岡元</p>
<p>第5回 5/14</p>	<p>学校歯科保健 (評価・改善)</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 リハーサルで出た意見を元に、修正する。 【行動目標 (SB0s)】 実際の小集団を想定して練習できる。 講話者とアシスタントの役割を分担できる。 媒体の複製を行う。 【準備学習項目・時間】 予習：刷掃指導班毎に、担当学年の指導内容を把握しておくこと。(15分) 復習：指導案を観ずに発表できるようにする。(30分) 【アクティブラーニングの有無】 有 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>★岡元</p>
<p>第6回 5/21</p>	<p>学校歯科保健 リハーサル③ (実施・評価)</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 前回までの反省点を踏まえたリハーサルを全員が実施する。 【行動目標 (SB0s)】 全員が指導内容を把握している。 リハーサルを実施できる。 より良い指導方法を討議できる。 媒体の複製を行う。 【準備学習項目・時間】 予習：指導媒体を使用した指導方法を把握しておくこと。(20分) 復習：指導案を観ずに発表できるよう最終確認する。(15分) 【アクティブラーニングの有無】 有 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>★岡元</p>

<p>第7回 5/28</p>	<p>学校歯科保健 (評価・改善)</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 リハーサルで出た意見を元に、修正する。 【行動目標 (SB0s)】 実際の小集団を想定して練習できる。 講話者とアシスタントの役割を分担できる。 媒体の複製を行う。 【準備学習項目・時間】 予習：刷掃指導班毎に、担当学年の指導内容を把握しておくこと。(15分) 復習：指導案を観ずに発表できるようにする。(15分) 【アクティブラーニングの有無】 有 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>★岡元</p>
<p>第8回 6/4</p>	<p>学校歯科保健 最終リハーサル (実施・評価・改善)</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 講話者とアシスタントの役割分担と、集団に対する伝達方法を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 歯科保健指導論の授業と関連づけられる。 指導媒体を使用して指導方法を練習できる。 本番を想定したリハーサルを実施できる。 【準備学習項目・時間】 予習：小集団指導本番を想定して臨むこと。(20分) 復習：改善点を修正し、本番を想定した練習を行う。(20分) 【アクティブラーニングの有無】 有 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>★岡元</p>
<p>第9回 6/11</p>	<p>小集団指導 I (実施・評価・改善)</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 対象者に応じた対応を身につけ、集団指導の実際を学ぶ。 【行動目標 (SB0s)】 大きな声ではっきりと話すことができる。 全体を見て状況に応じた指示を出すことができる。 決められた時間内に実施することができる。 【準備学習項目・時間】 予習：実習に備え、各自練習をしておくこと。(20分) 復習：振り返りシートの記入。(15分) 【アクティブラーニングの有無】 有 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 別途指示</p>	<p>★岡元</p>
<p>第10回 6/18</p>	<p>小集団指導振り返り 改善・計画</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 前回の反省点を元に、媒体・指導内容の修正を行う。 【行動目標 (SB0s)】 改善点を話し合い、修正を行う。 指導案の見直しを行う。 【準備学習項目・時間】 予習：振り返りシートの記入(15分) 復習：改善点を修正し、次回に備えて練習する。(20分) 【アクティブラーニングの有無】 有 【学習方略 (LS)】 ディスカッション ※小集団指導実習 IIは6/20 (臨床実習時間において) に実施する：1年生同行</p>	<p>★岡元</p>

<p>第11回 6/25</p>	<p>小集団指導Ⅲ (実施・評価・改善)</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 対象者に応じた対応を身につけ、集団指導の実際を学ぶ。 【行動目標 (SB0s)】 大きな声ではっきりと話すことができる。 全体を見て状況に応じた指示を出すことができる。 決められた時間内に実施することができる。 【準備学習項目・時間】 予習：実習に備え、各自練習をしておくこと。(20分) 復習：振り返りシートの記入。(15分) 【アクティブラーニングの有無】 有 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 別途指示</p>	<p>★岡元</p>
<p>第12回 7/2</p>	<p>小集団指導Ⅳ (実施・評価・改善)</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 個別指導・グループ指導を行い、状況に応じたブラッシング指導をする。 【行動目標 (SB0s)】 ブラッシング観察を行い、個別指導する。 口腔内状況に応じたブラッシング指導をする。 【準備学習項目・時間】 予習：実習に備え、各自練習をしておくこと。(20分) 復習：振り返りシートの記入。(15分) 【アクティブラーニングの有無】 有 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 別途指示</p>	<p>★岡元</p>
<p>第13回 7/9</p>	<p>小集団指導Ⅴ (実施・評価・改善)</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 個別指導・グループ指導を行い、状況に応じたブラッシング指導をする。 【行動目標 (SB0s)】 ブラッシング観察を行い、個別指導する。 口腔内状況に応じたブラッシング指導をする。 【準備学習項目・時間】 予習：実習に備え、各自練習をしておくこと。(20分) 復習：振り返りシートの記入。(15分) 【アクティブラーニングの有無】 有 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 別途指示</p>	<p>★岡元</p>
<p>第14回 7/16</p> <p>第15回 7/17</p> <p>7/23 歯科診療補助論と交換</p>	<p>小集団指導振り返り</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 集団指導を通しての振り返りを行う。 【行動目標 (SB0s)】 集団指導の特徴を再度考察する。 今後の課題を見つける。 【準備学習項目・時間】 予習：振り返りシートを提出できるようにまとめる。(15分) 復習：総まとめとして感想・考察レポートの記入。(30分) 【アクティブラーニングの有無】 有 【学習方略 (LS)】 ディスカッション</p>	<p>★岡元</p>

科目名 「 歯科診療補助論Ⅴ 」

学年	学期	科目責任者
3	前学期	鷹巣 美香
科目ナンバリング	C-10-⑦-I-29	
単位数	2	
学習目標 (GIO)	専門的な歯科診療の補助に対応するために必要な知識、技能および態度を身につける。	
担当教員	副校長 : ★野本 たかと 保存修復学 : ★岡田 珠美 口腔保健科学講座 顎口腔機能治療学分野 : ★若見昌信, ★岩崎正敏, ★増田 学, ★安田明弘 クラウン・ブリッジ補綴学 : ★内堀 聡史 学事委員 : ★齋藤 真規 専任教員 : ★鷹巣美香, ★移川明美, ★和田由紀子, ★中澤広美	
教科書	最新歯科衛生士教本 『歯科診療補助論第2版』 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版(株) 最新歯科衛生士教本 『歯科材料』 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版(株) 最新歯科衛生士教本 『歯科機器』 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版(株)	
参考図書	最新歯科衛生士教本 『歯の硬組織・歯髄疾患 保存治療・歯内療法』 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版(株) 最新歯科衛生士教本 『歯科予防処置論・歯科保健指導論』 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版(株) 最新歯科衛生士教本 『歯周疾患・歯周治療』 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版(株) 最新歯科衛生士教本 『小児歯科』 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版(株) 最新歯科衛生士教本 『歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法』 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版(株) 『歯科衛生士のための病気とくすりパーフェクトガイド』 一戸達也他編著 医歯薬出版(株)	
評価方法 (E V)	講義は定期試験 (80%) , 実習は実習課題・履修態度等 (20%) と合わせて総合的に評価する。	
学生へのメッセージ オフィスアワー	3 学年は各分野の総まとめであり, 実践に向けて技能の向上を図ってほしい。 毎時間を大切に臨み, 医療人として体調管理を行い欠席しないよう心がけること。原則として欠席した学生への補講は行わない。	

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/3 (水)	保存診療時の共同動作～保存診療①～	臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 ・保存診療時の歯科診療補助ができるようになるための知識・技能・態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 <input type="checkbox"/> 各種セメントの特徴・取り扱いについて繰り返し実習することで確実な技術を修得することができる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：30分、各種セメントの取り扱いについて復習のこと 復習時間：30分、実習課題で実習の復習を行うこと。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義・実習	★鷹 巣 ★移 川 ★和 田

<p>第2回 4/10 (水)</p> <p>第3回 4/17 (水)</p> <p>第4回 4/24 (水)</p>	<p>超音波スケーラー使用時のバキューム操作</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 超音波スケーラー使用時に術者がバキューム操作をできるようになるための知識・技能・態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・超音波スケーラー使用時の術者バキュームを実施できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：30分、超音波スケーラーの特徴・取扱いについて復習のこと。 復習時間：30分、各自アドバイス受けたことについて復習を行うこと。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>★鷹 巢川 ★移 澤田 ★中 ★和</p>
<p>第5回 5/8 (水)</p>	<p>保存診療時の共同動作～保存治療②防湿法・隔壁法マネキン実習～</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 保存治療のラバーダム多数歯連結法・隔壁の診療補助ができるようになるための知識・技能・態度をマネキン実習にて修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・ラバーダム多数歯連結法を行うことができる。 ・マトリックスリテーナーによる隔壁を行うことができる。 ・Tバンドによる隔壁法を行うことができる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：30分、2学年で学んだ防湿法・隔壁法について復習のこと。 復習時間：30分、実習課題で実習の復習を行うこと。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>★鷹 巢川 ★移 澤田 ★中 ★齋</p>
<p>第6回 5/15 (水)</p> <p>第7回 5/22 (水)</p> <p>第8回 5/29 (水)</p>	<p>保存診療時の共同動作～保存治療③防湿法・隔壁法 相互実習～</p> <p>小児歯科診療時の共同動作～小児歯科治療 小窩裂溝填塞～</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 保存治療時の隔壁の診療補助ができるようになるための知識・技能・態度を相互実習にて修得する。 小児歯科治療時のラバーダム防湿・小窩裂溝の診療補助ができるようになるための知識・技能・態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・小窩裂溝填塞法を実施することができる。 ・ラバーダム多数歯連結法を行うことができる。 ・マトリックスリテーナーによる隔壁を行うことができる。 ・Tバンドによる隔壁法を行うことができる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：30分、マネキン実習と小窩裂溝填塞法を復習のこと。 復習時間：30分、実習課題で実習の復習を行うこと。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 実習 *小窩裂溝纏足歯牙模型使用。</p>	<p>★鷹 巢川 ★移 澤田 ★中 ★野 ★齋</p>
<p>第9回 6/5 (水)</p>	<p>保存診療時の共同動作</p> <p>～保存診療⑤インレー修復 連合印象～</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 保存診療の連合印象の診療補助ができるようになるための知識・技能・態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・寒天・アルギン酸印象材の特徴を述べる。 ・寒天・アルギン酸連合印象の補助を実施できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：30分、印象材について復習のこと。 復習時間：30分、実習課題で実習の復習を行うこと。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★岡 田 ★鷹 巢</p>

<p>第10回 6/12 (水)</p>	<p>保存診療時の共同動作～保存診療④インレー修復 仮封～</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 保存診療時の仮封の診療補助ができるようになるための知識・技能・態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・仮封材の種類を列挙できる。 ・仮封材 (デュラシール) の取り扱いができる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：30分, 最新歯科衛生士教本『歯科診療補助論』4章7を読んでおくこと。 復習時間：30分, 実習課題で実習の復習を行うこと。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義 *エポキシ模型 2級窩洞#46使用。</p>	<p>★鷹 巢 ★移 川</p>
<p>第11回 6/19 (水)</p>	<p>全身疾患を持つ患者と歯科診療補助</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 全身疾患を持つ患者の歯科診療補助ができるようになるための知識・態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・全身疾患を持つ患者に対する偶発事故防止の注意事項を述べるができる。 ・在宅訪問診療の流れと診療時の留意点を述べるができる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：30分 最新歯科衛生士教本『歯科診療補助第2版』Ⅱ編2章を読んでおくこと。 復習時間：30分, 講義内容をよく復習のこと。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★鷹 巢</p>
<p>第12回 6/26 (水) 第13回 7/3 (水)</p>	<p>補綴診療時の共同動作～補綴診療プロビジョナルレストレーション・仮着～</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 補綴診療におけるプロビジョナルレストレーションの製作ができるようになるために必要な知識, 技能, 態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 プロビジョナルレストレーションの目的について理解する。 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料, 使用器具およびそれらの使用法を習得する。 プロビジョナルレストレーションの製作方法について述べるができる。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。 仮着用セメントの種類と特徴について述べるができる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：30分, プロビジョナルレストレーションの目的, 製作に必要な材料, 使用器具およびそれらの使用法について学ぶ。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作するための歯の解剖学について復習する。 復習時間：30分, 実習課題で実習の復習を行うこと。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 プロビジョナルレストレーションの目的, 製作に必要な材料, 使用器具および製作方法について講義を行う。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作および仮着の実習を行う。 *エポキシ模型 フェーシングクラウン#11, フルキャストクラウン#46, ポリクラウン#11使用。</p>	<p>★若 見 ★内 堀 ★岩 崎 ★増 田 ★安 田 ★鷹 巢</p>

<p>第14回 7/10 (水)</p>	<p>歯周治療時の診療補助～歯周外科処置 歯周包帯材～</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 歯周外科処置時の歯周包帯の診療補助ができるようになるための知識・技能・態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 ・歯周用パックの種類を列挙できる。 ・歯周用パックの取り扱いができる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：30分、歯周包帯材について復習のこと。 復習時間：30分、実習課題で実習の復習を行うこと。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義・実習</p>	<p>★鷹 巢 ★移 川</p>
<p>第15回 7/23 (火) 午後</p>	<p>保存診療時の共同動作～保存治療⑥ホワイトニング～</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 保存治療のホワイトニングの歯科診療補助ができるようになるための知識・技能・態度を修得する。(GC) 【行動目標 (SBOs)】 ・ホワイトニング材料の特徴, 取り扱いがわかる。 ・ホワイトニングの手順を説明できる。 ・ホワイトニングの器具や材料の名称と用途を説明し, 準備ができる。 ・マネキンにて歯肉保護を実施できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：30分, 最新歯科衛生士教本『歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法』P 2 1 7～2 2 1を読んでおくこと。 復習時間：30分, 実習課題で実習の復習を行うこと。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義・実習 (GC本社) *授業変更あり 7/17 (水)</p>	<p>★鷹 巢</p>

科目名 「社会保険」

学年	学期	科目責任者
3	前学期	西村均
科目ナンバリング	C-10-⑦-I-32	
単位数	1	
学習目標 (G10)	昭和36年に国民皆保険制度が導入されて以来、歯科医師のほとんどが保険医として地域医療に貢献している。そして、歯科衛生士もデンタルスタッフの一員として歯科医師と共に社会社会保険制度の中で医療行為を業務とする機会を与えられている。そのため、社会保険制度を知り、保険診療における歯科衛生士の役割と位置付けについて理解することを目標とする。	
担当教員	★西村均 ★岡元明菜	
教科書	なし(講義プリント、診療報酬明細書用紙)	
参考図書	歯科保険請求マニュアル 高橋一祐 医歯薬出版	
評価方法 (E V)	定期試験100% 評価する	
学生へのメッセージ オフィスアワー	歯科医療のほとんどは保険診療として行われているため、歯科衛生士が歯科医師と共に医療業務を遂行するためには社会保険制度を理解しなければならない。社会において歯科衛生士として活躍する多くの場所は開業医であるため、診療報酬明細書の理解は不可欠となる。診療報酬明細書の作成は経済上、大変重要な仕事でもあるので十分な知識を持っていただきたい。	

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回～第7回 4/9 4/16 4/23 5/7 5/21 5/28 6/7	保健指導実施後の 業務記録	臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 歯科保健指導を行い、記録用紙の書き方を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 実施した保健指導内容を適切に記録することができる。 【準備学習項目】 予習：記載事項を確認する。(資料配布) 30分 復習：指導した内容を記録する。(資料配布) 30分 【アクティブラーニングの有無】 有 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 409教室	★岡元 明菜

<p>第8回 6/18</p>	<p>健康保険制度と請求事務</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 医療保険制度と請求事務の役割を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 社会保障の種類を説明できる。 医療保険制度の種類を説明できる。 請求・審査・支払いの流れを説明できる。 【準備学習項目】 事前学習項目：初回は無し。 事前学習時間：0分 事後学習項目：授業プリント、教科書の確認をする。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無】 実施せず 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 409教室</p>	<p>★西村 均</p>
<p>第9回 6/18</p>	<p>診療録と診療報酬明細書の構成</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 診療録の構成と診療報酬明細書の構成・点数を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 診療録に必要な記載法を説明できる。 診療報酬明細書の構成を説明できる。 診療録から診療報酬明細書への転記を実施することができる。 【準備学習項目】 事前学習項目：前回講義の復習。 事前学習時間：20分 事後学習項目：授業プリント、教科書の確認をする。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無】 実施せず 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】</p>	<p>★西村 均</p>
<p>第10回 6/18</p>	<p>傷病名部位の記載</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 診療録の傷病名と診療報酬明細書の傷病名を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 診療録の傷病名を診療報酬明細書に適した簡略病名に変換できる。 診療録の傷病名部位を診療報酬明細書へ転記ができる。 【準備学習項目】 事前学習項目：前回講義の復習。 事前学習時間：20分 事後学習項目：授業プリント、教科書の確認をする。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無】 実施せず 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 409教室</p>	<p>★西村 均</p>

<p>第11回～第13回 6/25 7/2 7/9</p>	<p>歯科衛生士業務記録の書き方</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 歯科保健指導を行い、記録用紙の書き方を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 実施した保健指導内容を適切に記録することができる。 【準備学習項目】 予習：記載事項を確認する。(資料配布) 30分 復習：指導した内容を記録する。(資料配布) 30分 【アクティブラーニングの有無】 有 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 409教室</p>	<p>★岡元 明菜</p>
<p>第14回 7/17</p>	<p>基本診療の記載</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 基本診療の構成と算定要件を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 初診の算定法を説明できる。 再診の算定法を説明できる。 【準備学習項目】 事前学習項目：前回講義の復習。 事前学習時間：20分 事後学習項目：授業プリント、教科書の確認をする。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無】 実施せず 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 409教室</p>	<p>★西村 均</p>
<p>第15回 7/17</p>	<p>症例による明細書への転記</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 一症例として歯周疾患の一連の処置を理解し、算定要件を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 歯周処置における一連の治療に対する算定条件を説明できる。 【準備学習項目】 事前学習項目：前回講義の復習。 事前学習時間：20分 事後学習項目：授業プリント、教科書の確認をする。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無】 実施せず 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 409教室</p>	<p>★西村 均</p>

科目名 「 課題研究 」

学年	学期	科目責任者
3	前学期	オーガナイザー 野本たかと
科目ナンバリング	D-/-⑥-I-02	
単位数	1	
学習目標 (GIO)	臨床症例報告書の作成および発表をするために、歯科衛生過程を振り返り、歯科衛生業務における疑問や課題を見つけ、資料や文献検索を行い、治療経過の考察をする。	
担当教員	副校長：野本 たかと 教務主任：石橋 肇 専任教員：中澤 広美、岡元 明菜、移川 明美、和田 由紀子、鷹巣 美香 学事委員	
教科書	指定なし	
参考図書	「歯科衛生研究の進め方・論文の書き方」 医歯薬出版（株） *各自、症例検討に応じて必要な参考図書を準備すること。	
評価方法 (E V)	履修態度（積極的参加、出欠席）10%、提出物（10%）、課題レポート（80%）総合的に評価する。	
学生へのメッセージ	対象者の健康支援をしていく上で行動変容に結び付けるために、まずは問題の発見および解決方法を考えなければならない。またそこからのアプローチ方法の検討も必要である。この課題研究を通じて歯科衛生業務の重要性を認識し、それを伝えられるような人材になって欲しい。また卒業後も、常に研究心を持って業務に取り組むことを臨む。 *各自データ保存のために課題研究用のUSBメモリーを準備すること。 データ管理は慎重に行い、医療人としての倫理に配慮すること。	
オフィスアワー	17:00～18:00	

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/9 (火)	課題研究とは	臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 臨床課題研究を進めるために必要な研究計画立案および作業計画書の作成方法を知る。 【行動目標 (SBOs)】 ・本授業の学習意義が説明できる。 ・研究計画が立案ができる。 ・作業計画が立案ができる。 ・医療人として倫理的配慮ができる。 【準備学習項目】 予習 (45分) ・2学年後期保健指導論学んだ歯科衛生過程について復習をする。 ・2学年保健指導論で作成した計画シート (配布プリントも含) を準備すること。 ・学内パソコンIDおよびパスワードを順部すること。 復習 (45分) 患者計画をたてること。 【アクティブラーニングの有無】 有 【学習方略 (LS)】 講義・演習	★野本 ★石橋 ★中澤

<p>第2回 4/16</p>	<p>学校歯科保健 リハーサル① (実施・評価)</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 リハーサルを行い、全体の流れを確認し不備がないようにする。 【行動目標 (SB0s)】 リハーサルを実施できる。 より良い指導方法を討議する。 媒体の複製を行う。 【準備学習項目・時間】 予習：指導媒体を1つ完成させておくこと。(30分) 復習：リハーサルを基に指導案・媒体の修正を行う。(30分) 【アクティブラーニングの有無】 有 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>★中澤 ★岡元</p>
<p>第3回 4/23</p>	<p>学校歯科保健 (評価・改善)</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 前回のリハーサルをもとに、指導媒体および指導方法を修正する。 【行動目標 (SB0s)】 指導媒体の作成と指導方法を再考する。 媒体の複製を行う。 【準備学習項目・時間】 (60分) 予習：媒体を使用した指導方法を全員が把握しておくこと。(20分) 復習：対象者が理解しやすいような工夫をする。(20分) 【アクティブラーニングの有無】 有 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>★中澤 ★岡元</p>
<p>第4回 5/7</p>	<p>学校歯科保健 リハーサル② (実施・評価)</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 前回までの反省点を踏まえたリハーサルを実施する。 【行動目標 (SB0s)】 全員が指導内容を把握している。 リハーサルを実施できる。 より良い指導方法を討議できる。 媒体の複製を行う。 【準備学習項目・時間】 予習：対象者を想定した指導を考察する。(20分) 復習：ペアでの練習を行う。(30分) 【アクティブラーニングの有無】 有 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>★中澤 ★岡元</p>
<p>第5回 5/14</p>	<p>学校歯科保健 (評価・改善)</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 リハーサルで出た意見を元に、修正する。 【行動目標 (SB0s)】 実際の小集団を想定して練習できる。 講話者とアシスタントの役割を分担できる。 媒体の複製を行う。 【準備学習項目・時間】 予習：刷掃指導班毎に、担当学年の指導内容を把握しておくこと。(15分) 復習：指導案を観ずに発表できるようにする。(30分) 【アクティブラーニングの有無】 有 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>★中澤 ★岡元</p>

<p>第6回 5/21</p>	<p>学校歯科保健 リハーサル③ (実施・評価)</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 前回までの反省点を踏まえたリハーサルを全員が実施する。 【行動目標 (SB0s)】 全員が指導内容を把握している。 リハーサルを実施できる。 より良い指導方法を討議できる。 媒体の複製を行う。 【準備学習項目・時間】 予習：指導媒体を使用した指導方法を把握しておくこと。 (20分) 復習：指導案を観ずに発表できるよう最終確認する。(15分) 【アクティブラーニングの有無】 有 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>★中澤 ★岡元</p>
<p>第7回 5/28</p>	<p>学校歯科保健 (評価・改善)</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 リハーサルで出た意見を元に、修正する。 【行動目標 (SB0s)】 実際の小集団を想定して練習できる。 講話者とアシスタントの役割を分担できる。 媒体の複製を行う。 【準備学習項目・時間】 予習：刷掃指導班毎に、担当学年の指導内容を把握しておくこと。(15分) 復習：指導案を観ずに発表できるようにする。(15分) 【アクティブラーニングの有無】 有 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>★中澤 ★岡元</p>
<p>第8回 6/4</p>	<p>学校歯科保健 最終リハーサル (実施・評価・改善)</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 講話者とアシスタントの役割分担と、集団に対する伝達方法を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 歯科保健指導論の授業と関連づけられる。 指導媒体を使用して指導方法を練習できる。 本番を想定したリハーサルを実施できる。 【準備学習項目・時間】 予習：小集団指導本番を想定して臨むこと。(20分) 復習：改善点を修正し、本番を想定した練習を行う。(20分) 【アクティブラーニングの有無】 有 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>★中澤 ★岡元</p>
<p>第9回 6/11</p>	<p>小集団指導 I (実施・評価・改善)</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 対象者に応じた対応を身につけ、集団指導の実際を学ぶ。 【行動目標 (SB0s)】 大きな声ではっきりと話すことができる。 全体を見て状況に応じた指示を出すことができる。 決められた時間内に実施することができる。 【準備学習項目・時間】 予習：実習に備え、各自練習をしておくこと。(20分) 復習：振り返りシートの記入。(15分) 【アクティブラーニングの有無】 有 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 別途指示</p>	<p>★中澤 ★岡元</p>

<p>第10回 6/18</p>	<p>小集団指導振り返り 改善・計画</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 前回の反省点を元に、媒体・指導内容の修正を行う。 【行動目標 (SB0s)】 改善点を話し合い、修正を行う。 指導案の見直しを行う。 【準備学習項目・時間】 予習：振り返りシートの記入 (15分) 復習：改善点を修正し、次回に備えて練習する。 (20分) 【アクティブラーニングの有無】 有 【学習方略 (LS)】 ディスカッション</p>	<p>★中澤 ★岡元</p>
<p>第11回 6/25</p>	<p>小集団指導Ⅲ (実施・評価・改善)</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 対象者に応じた対応を身につけ、集団指導の実際を学ぶ。 【行動目標 (SB0s)】 大きな声ではっきりと話すことができる。 全体を見て状況に応じた指示を出すことができる。 決められた時間内に実施することができる。 【準備学習項目・時間】 予習：実習に備え、各自練習をしておくこと。 (20分) 復習：振り返りシートの記入。 (15分) 【アクティブラーニングの有無】 有 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 別途指示</p>	<p>★中澤 ★岡元</p>
<p>第12回 7/2</p>	<p>小集団指導Ⅳ (実施・評価・改善)</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 対象者に応じた対応を身につけ、集団指導の実際を学ぶ。 【行動目標 (SB0s)】 大きな声ではっきりと話すことができる。 全体を見て状況に応じた指示を出すことができる。 決められた時間内に実施することができる。 【準備学習項目・時間】 予習：実習に備え、各自練習をしておくこと。 (20分) 復習：振り返りシートの記入。 (15分) 【アクティブラーニングの有無】 有 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 別途指示</p>	<p>★中澤 ★岡元</p>
<p>第13回 7/9</p>	<p>小集団指導Ⅴ (実施・評価・改善)</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 個別指導・グループ指導を行い、状況に応じたブラッシング指導をする。 【行動目標 (SB0s)】 ブラッシング観察を行い、個別指導する。 口腔内状況に応じたブラッシング指導をする。 【準備学習項目・時間】 予習：実習に備え、各自練習をしておくこと。 (20分) 復習：振り返りシートの記入。 (15分) 【アクティブラーニングの有無】 有 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 別途指示</p>	<p>★中澤 ★岡元</p>

<p>第14回 7/16</p>	<p>臨床課題研究の 展開と作業①</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 臨床課題研究を進めるために必要な文献・資料検索方法を知る。 【行動目標 (SB0s)】 ・文献の検索することができる。 ・必要資料を検索することができる。 ・医療人として倫理的配慮ができる。 【準備学習項目】 予習 (15分) 学内ポータルサイトへの接続方法の確認 復習 (60分) 患者計画および課題の抽出を行い、計画書を作成する。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義・演習</p>	<p>★中澤</p>
<p>第15回 7/23</p>	<p>臨床課題研究の 展開と作業②</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 プレゼンテーションのノウハウを修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・パワーポイント上での見やすい字体、大きさ、文字数、適切な色を判断できる。 ・臨床課題研究を進めるために研究計画および作業計画の再検討ができる。 ・臨床課題研究をまとめるために必要な文献および資料検索ができる。 ・スライドの原案が作成できる。 ・医療人として倫理的配慮ができる。 【準備学習項目】 予習 (45分) ・歯科衛生過程の復習 ・本授業第1回目2回目の復習 ・パワーポイントの使用方法の確認 復習 (60分) ・患者診療の状況の確認をしておくこと。課題レポートのテーマを決めること。 【アクティブラーニングの有無】 有 【学習方略 (LS)】 講義・演習 *講師によるプレゼンテーションの実際をみる。</p>	<p>★中澤</p>

科目名 「統合演習」

学年	学期	科目責任者
3	後学期	校長：平塚 浩一
科目ナンバリング	D-/-⑥-I-01	
単位数	12	
学習目標 (GIO)	これまでに学んだ知識と修得した技術を統合し、教育理念である「自主創造型の歯科衛生士」となるために、3年間の総まとめを行い、知識の整理・統合の方法を学ぶ。	
担当教員	各科目担当講師	
教科書	歯科衛生士国家試験問題集（2020年度版 徹底分析！） 歯科衛生士国家試験対策集（2020年度版）	
参考図書	各科目担当講師の指示に従うが、基本的には1年生～3年生で使用した教科書等を参考図書とする。	
評価方法 (EV)	各領域ごとに行われる4回程度の平常試験（70%）、毎日の授業の確認として行われる小テスト（10%）、国試過去問題を中心としたまとめ試験（10%）、および各自の臨床報告の課題研究（10%）で評価する。	
学生への メッセージ オフィスアワー	国家試験対策として3年間の授業を振り返ります。再度、知識を確認し不足部分を補ってください。授業などで不明なことがあれば、各科目担当へ声をかけてください。	

日付	授業項目	授業内容	担当教員
9月30日～ 1月31日	別途記載	別途記載	別途記載

科目名 「専門歯科衛生士学」

①

学年	学期	科目責任者
3	後学期	オーガナイザー 野本 たかと
単位数	4	
カリキュラム ナンバリング	E-/-⑥-II-09	
学習目標 (GIO)	歯科衛生士としてより専門的な知識・技能・態度をも身につけるために、最先端の歯科医療技術を修得するとともに専門性を追求し、広く社会貢献できるような人材を目指す。	
担当教員	各科指導者	
教科書	各科の指示に従う	
参考図書	各科の指示に従う	
評価方法 (EV)	各科による	
学生への メッセージ オフィスアワー	臨床実習で修得した基礎知識・技能・態度にプラスし、より専門的かつ高度な歯科医療技術を学んでほしい。またこの授業、実習を通じて、将来どんな歯科衛生士になりたいのか、どのジャンルのプロフェッナルを目指すのか等、自身の目指すきっかけになることを臨む。	
日程	第1クール	9/30 (月) 10/7 (月) 21 (月) 28 (月)
	第2クール	11/11 (月) 18 (月) 25 (月) 12/2 (月)

科	授業項目	授業内容	担当教員
特殊歯科		<p>【授業の一般目標】 障害者及び要介護者の歯科臨床を体験しながら、Four handed dentistryの実践、口腔保健管理の計画立案及び実施ができる。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 <ul style="list-style-type: none"> ・Four handed dentistryを実践できる。 ・障害者に対する口腔保健管理計画の立案ができる。 ・障害者に対する口腔保健指導・管理の実施ができる。 ・障害者に対する予防処置な度を実践できる。 </p> <p>【準備学習項目】 <ul style="list-style-type: none"> ・各障害及び疾患の特徴の確認 (全身、口腔) ・各障害及び疾患の歯科治療時の注意点の確認 ・歯科治療基本術式の理解 ・口腔保健管理計画に必要な知識の確認 (道具などの環境整備も含めて) ・機械的歯面清掃の術式の理解 </p> <p>【学習方略 (LS)】 患者実習</p> <p>【評価方法 (EV)】 口頭試問 (20%) , レポート (20%) , 態度 (20%) , 出席 (40%)</p> <p>【学生へのメッセージ】 障害者及び要介護者は、歯科衛生士の関わりによって歯科受診や適切な歯科保健行動が獲得できるようになります。多くの方々の支援ができるように専門性を学びましょう。</p>	<p>★遠藤 眞美 ★野本 たかと</p>

<p>歯周科</p>	<p>歯周基本治療</p>	<p>【授業の一般目標】 歯周病患者の病状・病態を理解し、歯周基本治療を適切に実施するための知識・技能を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 ・歯周病検査の結果から、歯周病の原因及びリスクファクターを説明できる。 ・SRPにおいて正しいスクレーラーが選択できる。 ・適切なポジションニングでSRPが実施できる。 ・ポケット内洗浄が実施できる。 ・歯周治療におけるレーザーの応用を見学する。</p> <p>【準備学習項目】 ・歯周病の発症と進行に関わる病因を説明できる。 ・歯周基本治療の種類を説明できる。 ・歯肉縁上及び縁下歯石の特徴を説明できる。 ・SRPで使用するスクレーラーの操作を説明できる。 ・化学的プラークコントロールを説明できる。 ・軟組織に使用するレーザーの効果の説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 患者実習</p> <p>【学生へのメッセージ】 歯周治療を成功に導くために、歯周基本治療は重要な原因除去療法です。歯周治療の知識や技術を少しでも多く得て将来のために役立てていきましょう。</p>	<p>★小方 頼昌 ★中山 洋平 ★高井 英樹 ★目澤 優 ★鈴木 菜月 ★星 雅子 ★虎見 和代</p>
<p>保存科 (歯内療法)</p>		<p>【授業の一般目標】 最新の歯内療法の診療に参加ができるようになるために、顕微鏡及び最新の器具 (NiTiファイル等) を用いた歯内療法を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 ①顕微鏡を用いた歯内療法の特徴を説明できる。 ②顕微鏡を用いた歯内療法の準備・介補ができる。 ③歯内療法の最新の器具の特徴を説明できる。 ④最新の器具を用いた歯内療法の準備・介補ができる。</p> <p>【準備学習項目】 今まで修得した歯内療法の確認</p> <p>【学習方略 (LS)】 診療室で実践をしながら習得する。</p> <p>【学生へのメッセージ】 歯内療法は無菌処置を徹底します。 細かく、先端が鋭い器具を使用しますので、扱いに注意するように。</p>	<p>★松島 潔 ★辻本 恭久 ★川島 正 ★岡部 達 ★神尾 直人</p>

<p>保存科 (保存修復)</p>		<p>【授業の一般目標】 口腔に関する健康意識とQOL向上のために、歯科衛生士として歯科審美治療の中でも特に漂白処置に対する知識、技能及び態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生活歯漂白における予知性のある検査と診断ができる。 2. 生活歯漂白用薬物の取扱いについて説明できる。 3. 生活歯漂白の作用機序について説明できる。 4. 生活歯漂白の種類とその術式が説明できる。 5. オフィスブリーチが実施できる。 6. オフィスブリーチ後の注意事項を説明できる。 7. カスタムトレーの作製ができる。 8. ホームブリーチにおける患者説明ができる。 9. 漂白後に生じる偶発症とその対処法について説明できる。 <p>【準備学習項目】 2年次で行った漂白に関する講義を復習しておく。</p> <p>【学習方略 (LS)】 < 1日目 > 午前：SB01～4及び9に関する講義 午後：漂白処置に必要な予知性のある術前検査の相互実習 カスタムトレー作製のための印象採得</p> <p>< 2日目 > 午前：カスタムトレーの製作実習 午後：ホームブリーチに関する講義 漂白体験1 - ホームブリーチの実際 -</p> <p>< 3日目 > 午前：オフィスブリーチに関する講義 午後：漂白体験2 - オフィスブリーチ相互実習 -</p> <p>< 4日目 > 午前：実習を通じて学んだことに関するレポートの作成 午後：作成レポートに関するプレゼンテーションの実施</p> <p>【学生へのメッセージ】 審美修復治療の中でも歯の漂白に関心のある学生はぜひ参加して下さい。将来、ホワイトニングコーディネーターを目指す基礎となります。</p>	<p>★平山 聡司 ★島田 裕美子</p>
-----------------------	--	---	------------------------------------

<p>補綴科 (クラウンブ リッジ) (有床義歯)</p>		<p>【授業の一般目標】 歯科補綴学では歯質欠損に対する歯冠修復と歯列の一部あるいは全部欠損に対する補綴治療の臨床的意義及び方法を理解する。補綴装置の予防処置や指導法を立案し、義歯装着者へ説明・指導をできるようにする。印象練和で術者ヘトレーの受け渡しや、適切な石膏の注入により模型製作ができるようになり、補綴治療全般を理解し、歯科衛生士として求められる知識、技能及び態度を評価する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 1. 補綴診療時の診療補助ができる。 2. 寒天・アルジネートによる上下顎精密印象採得と石膏注入により研究模型の製作ができる。 3. 上顎研究模型で自身の口蓋床の製作と口腔内への装着を経験し、振り返ることができる。 4. 上顎左側⑤⑥⑦プロビジョナルレストレーションの製作ができる。仮着用セメントの練和およびセメントアウトができる。 5. 補綴装置装着者にブラッシング指導の実地ができる。 6. 治療計画の流れと予防法の説明ができる。</p> <p>【準備学習項目】 教科書や配布資料により歯科補綴治療における診療補助及び材料について学習しておくこと。</p> <p>【学習方略 (LS)】 これまでの学習から歯科医療の特徴、補綴診療の流れ、及び各補綴装置の衛生指導法から、社会に貢献できる歯科衛生士としての基盤を創る。</p> <p>【評価方法 (EV)】 歯科衛生士として求められる知識、技能及び態度を各実習日それぞれで評価する。</p> <p>【学生へのメッセージ】 実習内容 1日目 A班とB班の2班に分かれて3F・職員技工室見学と補綴科診療室での見学・介補を行う。午前と午後とでA班・B班は交代する。診療室では寒天コンディショナーの使用法と取扱いについての説明 担当 DR: 中田、DH大内 2日目 臨床実習室にて、午前：寒天・アルジネートで上・下顎右側6の精密印象採得後に石膏注入による研究用模型の製作(院内生技工室) 午後：石膏硬化後に院内生技工室で模型のトリミングによる模型調整。終了後に補綴科で診療の見学・介補 担当DR: 小川、佐藤 3日目 午前：第5実習室で2日目に製作した研究模型を持参すること。実習生は有床義歯装着者への刷掃指導が出来る様になるため、2日目に製作した自分の研究模型から上顎口蓋床を製作し、製作した口蓋床を装着して義歯を体感し、義歯装着者への説明や清掃指導ができるようにする。午後：第5実習室で上顎左上⑤⑥⑦のプロビジョナルレストレーション製作と仮着用セメントの練和及びセメントアウト実習 担当DR: 大村、内堀 4日目 アクティブラーニング： 学生セミナー室1・2で補綴の患者症例で医科・歯科的の既往歴、レントゲン写真から治療計画の立案と予防法に関する症例検討及び大学院セミナー室での発表会 担当DR: 中田</p>	<p>★河相 安彦 ★大村 祐史 ★中田 浩史 ★内堀 聡史 ★小川 晃奈 ★佐藤 佳奈美 ★大内 理花子</p>
---	--	---	---

<p>口腔外科</p>		<p>【授業の一般目標】 口腔外科治療の診療補助のための知識・技能・態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 ・外来：処置の準備、患者誘導、血圧及び脈拍の測定、介補、術後説明、片付けまでの一連の流れを清潔・不潔を理解しながら行動できる。 ・病棟：周術期における口腔ケアについて理解できる。</p> <p>【準備学習項目】 『歯科衛生士のための口腔外科学』第2・3・5章を読んでおくこと。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【学生へのメッセージ】 2・3年生の実習を通して口腔外科でより専門性を学びたい目標を自分自身で立て、実習に臨んでください。</p>	<p>★小宮 正道 ★山崎 文恵</p>
<p>小児歯科</p>	<p>①小児歯科診療 ②齲蝕予防 ③診療補助 ④小児の口腔保健管理</p>	<p>【授業の一般目標】 小児歯科における歯科衛生士業務を行うために、より専門性に特化した知識・技能・態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 1. 小児歯科の診療体系を説明できる。 2. Four Handed Dentistryに基づいた診療補助ができる。 3. 患児の年齢や発達に配慮できる。 4. 小児歯科特有の疾病発症の機序とその予防法を説明できる。 5. 症例に応じた口腔保健管理計画を立案できる。</p> <p>【準備学習項目】 講義及び臨床実習にて学んだ全項目</p> <p>【学習方略 (LS)】 1. 診療介補及び見学 2. 小窩裂溝填塞法 (マネキン) 3. 口腔衛生指導立案</p> <p>【評価方法 (EV)】 口頭試問、レポート、出席</p> <p>【学生へのメッセージ】 「小児」という時間軸によって分類された特殊な診療科です。そのため包括的な歯科医療の知識・技能・態度が要求されます。患児の協力の下、歯科医師から指示を受け、実際に口腔内で歯面研磨やフッ化物塗布を実施することもあります。よって患児の年齢・発達に合わせた口腔衛生指導や予防処置を行う上で必要な知識・技能を事前学習し、実習に臨んでください。</p>	<p>★清水 武彦 ★小川 奈保</p>
<p>矯正歯科</p>		<p>【授業の一般目標】 歯科矯正の分野で活躍できる歯科衛生士になるため、より深い知識と技術を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 1. 矯正治療の流れを理解し、円滑な介補ができる。 2. 抜歯非抜歯の判定について説明できる。 3. 固定について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 介補の手順、不正咬合の種類、矯正装置について説明できる60分</p> <p>【学習方略 (LS)】 介補見学を介して矯正治療における歯科衛生士の役割を学ぶ。 講義を介して抜歯非抜歯の判定、固定について学ぶ。</p> <p>【学生へのメッセージ】 矯正分野に興味があり、より知識を深めたい学生向けです。</p>	<p>★葛西 一貴 ★石井 かおり</p>

総合診療科		<p>【授業の一般目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合歯科診療における安全・安心な歯科診療補助を行うために必要な基本的知識・技能及び態度を修得する。 <p>【行動目標 (SB0s)】</p> <p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合歯科における診療補助と口腔衛生指導ができる。 ・診療に必要な器具の準備・補助ができる。 <p>【準備学習項目】 各診療科の治療内容</p> <p>【学習方略 (LS)】 診療室での診療補助実習・口頭試問</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清潔な服装で実習にのぞむこと。 ・総合的知識が必要なので、各科の診療内容を理解しておくこと。 	<p>★浅野 隆 ★岩崎 正敏</p>
口腔インプラント科		<p>【授業の一般目標】</p> <p>インプラント治療に関わる歯科衛生士業務を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】</p> <p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</p> <p>インプラント治療の流れにそった歯科衛生の役割を理解する。</p> <p>インプラント治療に必要な診察・検査を理解する。</p> <p>インプラント手術を理解する。</p> <p>インプラント補綴を理解する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>教科書、講義内容やレポートを復習する。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義及び実習</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>卒業後、インプラントの患者を担当した時に、役立つように実践した内容を指導したいと考えます。</p>	<p>★村上 洋 ★井下田 繁子 ★永田 恵実子</p>
放射線科		<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯科医療で行われる画像検査及び読影について修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】</p> <p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</p> <p>口内法、顎顔面部頭蓋撮影、CT、CBCT、MRIの説明ができる。</p> <p>画像検査で得られた画像の読影ができる。</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>教科書を用いて行う。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義及び実習</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>歯科で行う画像検査及び読影について復習して下さい。</p>	<p>★平原 尚久 ★村岡 宏隆</p>